

(補足) 「応募時点で商品化の目処がたっている」について

中小企業組合等活路開拓事業（展示会等出展・開催事業）における出展物（試作品・製品・技術・サービス等）は、展示会等出展・開催時点で、完成しており、なおかつ商品化の目処がたっていることが要件となります。

出展物が応募時点で未完成であっても、詳細設計が済んでおり、製作中である場合など、商品化の目処がたっており、展示会等までに完成が見込まれるものは、本事業に応募することができます。

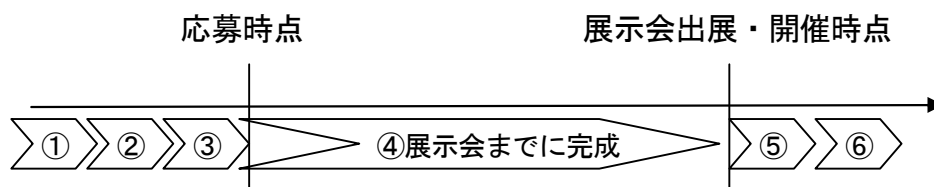
また、出展物は完成品を要件としますが、展示物等の構造上や商品・サービスの特性等により、実物ではなくてパネル等で展示することも可能です。

なお、展示会等出展・開催時点で、出展物が完成しない場合（当初計画の出展物と異なる場合）は、本事業の取り消し対象となります（交付決定後から取り消しまでに要した経費は、補助対象となりません。）。

商品開発プロセス順にみると以下のとおりです。

【試作品等を展示する場合】

- ①コンセプト作成 (済)
- ②基本計画（スタイル・構造・製品仕様等） (済)
- ③詳細設計 (済)
- ④試作品等の製作 (着手中) →展示会までに完成見込み
- ⑤評価・改良
- ⑥製品の製造



【製品等を展示する場合】

- ①コンセプト作成 (済)
- ②基本計画（スタイル・構造・製品仕様等） (済)
- ③詳細設計 (済)
- ④試作品等の製作 (済)
- ⑤評価・改良 (済)
- ⑥製品の製造 (着手中) →展示会までに 完成見込み

